

最短・確実な

TAC/Wセミナー専任講師・弁護士である中村充が編み出した「4A（4段階アルゴリズム）」は、日本語が読み書きできる方なら誰でも法的問題が解けるようになる「統一的処理手順」です。最短の勉強時間で最大の効果を得ることができる「4A」のメリットを、余すところなく紹介します！

勉強法＝4A！

「4A」は、日本語が読み書きできる方なら誰でも法的問題が解けるようになる「統一的処理手順」です。最短の勉強時間で最大の効果を得ることができる「4A」のメリットを、余すところなく紹介します！

1 問題文・条文に基づくから効率的！

「4A基礎講座」では、「過去問（問題）」と「条文」を重視していきます。

司法試験系において、論文本試験会場にあるものは、「問題文」と「条文（六法）」だけだからです。

司法試験系が、手元に置かれた①本試験問題を②条文を使って解く試験だからこそ、私は①②を指導するのです。

本試験では、「問題文・条文」が与えられる！

「問題文・条文」に基づけば、**INPUTすべき知識が激減！**

4A基礎講座では、合格に必要なテキストの量はたったこれだけ！

INPUTにかかる時間・労力を極限まで圧縮し、**知識の質がUP！** くり返しINPUTが可能となることで、

コンパクトなので、試験会場にテキストを持って行けた！

無駄に分厚くなく、使いやすかった！

薄いので、何度でもくり返すことができた！

必要充分に集約されていて、くり返しが容易！

その差、目瞭然！

大量の基本書等が必要としていた司法試験受験対策

条文単位のテキスト P20

「4A基礎講座」受講生の声

TAC/Wセミナー これまでの受験指導

「4A基礎講座」では、**条文単位の「4A条解テキスト」**を使用します。これは、新旧司法試験・予備試験・法科大学院入試の論文・短答過去問を徹底的に分析して、今後のこれらの**本試験で出題可能性のある問題を解くために必要最小限の知識に絞りに絞って作成しています。**

テキストで知識を過度に「INPUT」してしまうと、消化不良になって、記憶の正確性が低下するどころか、短答式試験の半分くらい、そして論文式試験に至ってはその大半を占める現場思考型の問題に対応できなくなってしまう。知識は、むやみに増やせばいいというものではないのです。

他にも「問題文・条文」に基づくメリットがいっぱい！

最新の試験傾向に適合！

旧司法試験▶新司法試験への試験制度変更の中で、最も大きな変更点は「問題文・条文（問題文・条文で使われている文言を答案に反映できているか）」への大きな配点！

減点防止に！

「問題文・条文」自体には間違いがない！
条文単位で問題文を処理することで、論理矛盾による大減点のリスクを最小化できる！

短答式試験対策に！

短答式試験の出題も「問題文・条文」が中心！
「問題文・条文」に基づく論文対策で、「問題文・条文」中心の短答対策との相乗効果が得られる！

つまり、「問題文・条文」をそのまま答案に使うことで、**効率よく学習することが可能になり、より得点を伸ばすことに繋がります！**

最新の試験傾向に合わせつつ、学習効率をどこまでも高め、講義時間をどこよりも短く！

そして、**受講料はどこよりも低額に！** 4A基礎講座 全101回 P26・P27 **¥313,000** (8%税込・教材費込)
※教室/個別DVD/Web通信講座

2 あらゆる法的問題が解ける！

「4A」は、あらゆる法的問題が解ける「統一的処理手順」です。まるで計算問題を解くような感覚で、司法試験で出題されるすべての問題が解けるようになります。どんな法的問題でも適用するため、**科目横断的な実力をつけることができ、学習効率も高まります。**

さらに、大学・法科大学院の学部試験・定期試験、司法試験合格後の修習、そして実務で直面する問題まで解けるようになります。



4Aを使う訓練をするだけで、**自然とあらゆる法的問題を解く力が備わり、短期間で飛躍的に実力を向上させることができます！**

3 法的知識ゼロでも解ける！

「4A」は、①当事者確定 ②言い分 ③法的構成 ④あてはめ、これだけで法的問題が解けます。実際、ある高校で全く法的知識のない高校1年生約30人に、4Aを使って予備試験の論文過去問を解いてもらったときにも、合格答案顔負けの素晴らしい回答が続出しました。**法的知識がなくても、日本語の読み書きさえできれば、「4A」を使うだけで司法試験系の問題が解けるようになるのです！**

高校生でも司法試験系の問題が解ける！統一的処理手順「4A」とは？

STEP ① 当事者確定



「ケンカしているのは誰と誰なのか？」を定める。

STEP ② 言い分



①の各当事者の立場に立って、「相手に対してケンカを売る」。

STEP ③ 法的構成



②の言い分を「実現できる条文」を探す。

STEP ④ あてはめ



③の条文の一言一句に「問題文の具体的事情を“代入”する」。

このように、**法的知識がない方でも、知識をINPUTしながら問題を解く訓練を積むことができるので、心配は無用です！**



さあ、皆さん！4Aの威力を体感！

4Aを使って、実際に問題を解いてみましょう！

次ページへ
GO!

▼ Winner's Voice ▼

Congratulations! 4Aで合格者続々!

司法試験合格

中村講師との
合格者
インタビュー
P06・P07



富田 興太郎 さん

合格実績 2015年司法試験
出身校 中央大学法科大学院 (卒業)
受講歴 ■ 既修者本科生 (現 4A 基礎講座パック)
■ 司法試験 4A 論文過去問分析講義

どうすれば受講生が合格できるか、
真剣に考えてくれる先生です!

中村先生の講義は、①司法試験等に合格するために必要な能力を②徹底的に鍛えまくる内容となっています。合格するためには何が必要かという点からカリキュラムが組まれており、合格につながることに特化して学習することができました。私は大学2年生の時、法律の知識がほとんどない状態で中村先生の講座を受講したのですが、先生は常に平易な言葉で分かりやすく講義して下さるので、初学者の私も最後まで無理なく基礎講座を受講することができました。先生の講座では、すべての問題を4Aという方法で解いていくため、科目横断的に法律問題の解き方が身につく、短期間で飛躍的に実力を伸ばすことができます。また、質問にはいつも丁寧に答えてくださり、私自身がどうしたら合格できるかをきちんと考えてくれました。どうしても短期間で合格したい、非効率的な勉強で時間を無駄にしないという方には、中村先生の講義を強くオススメします。

司法試験合格



N.Y. さん

合格実績 2015年司法試験 (2014年予備試験合格)
出身校 東京大学 (卒業)
受講歴 ■ 4A 基礎講座
■ 司法試験 4A 論文過去問分析講義

4Aは全ての問題に通ずる方法論!

実際に中村先生の講義を受講して感じたことは4Aという方法論を通じた問題分析が非常に優れているなという印象でした。大学や他の予備校の講義では、問題ごとに「ここはダメ」と指摘することはあっても、すべての問題に普遍的な解法を伝授してくれることはほとんどないので、新たな問題に出会った時にどうすればよいのか分からなくなってしまいます。しかし中村先生は4Aというすべての問題に通ずる方法論から論文の書き方を教えてください、これを身につけていくにつれ、未知の問題に出会っても混乱せずに問題と向き合えるようになりました。また、いたずらに上位合格レベルを提示して煽るのではなく、最低限司法試験の合格に必要なポイントを示して下さるので、難しい問題でも「このくらいなら自分にもできるから合格を狙えるな」という考え方で取り組めるようになりました。結果、自信を持って本番の試験に臨める状態にまで引き上げてもらえました。

司法試験合格

中村講師との
合格者
インタビュー
P08・P09



T.K. さん

合格実績 2015年司法試験 (2014年予備試験合格)
出身校 成蹊大学法科大学院 (卒業)
受講歴 ■ 4A 基礎講座
■ 司法試験 4A 論文過去問分析講義

従来の予備校にはなかった「問題の
解き方を教えてくれる」画期的な内容!

私は、約20年勉強してきた超ベテランで、一定水準以上の知識はありましたが、その知識が本試験に全くフィットしていない状態でした。私には、知識を必要最小限の範囲に絞り込みかつその知識の使い方を教えてくれる講座が必要でした。以前受講した他校の講座では、分厚いテキストが配布され、単に沢山の網羅的な知識を教えられるにすぎませんでした。この点、2013年から新しく始まった4A基礎講座は、中村講師が全て一人で責任をもって各科目2冊ずつのテキスト(4A論文解法パターンテキスト及び4A条解テキスト)を作成し(知識が真に必要な最小限の範囲に絞られている)、これに基づいて試験問題の解き方を教えてくれるという画期的な内容であり、この講座以外に選択の余地はありませんでした。司法試験 4A 論文過去問分析講義も同様のコンセプトで、難解な過去問をズバズバ斬っていきます。予備試験合格後はコレしかやっていません。

司法試験合格



池本 一広 さん

合格実績 2015年司法試験
出身校 中央大学法科大学院 (卒業)
受講歴 ■ 既修者本科生 (現 4A 基礎講座パック)

自分オリジナルの
技術を身につけられます!

司法試験に合格するためには、本試験現場で合格ラインを見極め、その上で合格ラインを超えていくという技術が必要です。ですが、本試験の合格ラインは採点実感や再現答案からすぐに分かるものではありません。中村講師は、講義でこの合格ラインをはっきり教えてくれます。ですので、講師が教えてくれる合格ラインを意識して過去問を繰り返し解くことによって、「ぎりぎりまで受かる人ってこういうこと書きそうだよ」と本試験でイメージする技術を身につけることができます。中村講師が技術について教えてくれるのは合格ラインについてだけではなく、条文への効率的なあてはめ方、問題文の事実から法律構成のヒントを見つける方法などたくさんありました。さらに、司法試験の勉強は取っつきにくく、勉強期間も長くなるため、勉強方法で悩んだり、調子が上がらなくて困ってしまうことがよくあると思います。中村先生は、困ったことがあった時なんでも相談にのってくれました。先生との距離が近い点もおすすめです。

司法試験合格



西村 佳祐 さん

合格実績 2015年司法試験
出身校 中央大学法科大学院 (卒業)
受講歴 ■ 既修者本科生 (現 4A 基礎講座パック)

4Aはアウトプットだけでなく
インプットにも役立つ!

中村講師の講義の特徴といえば、やはり4Aだと思います。4Aは具体的な事案処理の方法論といわれることが多いので、アウトプットを連想される方が多いかと思います。しかし、言われてみれば当たり前のことなのですが、アウトプットとインプットは表裏の関係にあるので、アウトプットの際の頭の使い方は、インプットの際にも使えるのです。現在の司法試験系の問題は具体的な事案につき妥当な結論を導く、あるいは当事者として説得的な主張をすることが求められます。その際には、具体的な事案に結び付けられた知識でなければ使い物になりません。そこで、判例や基本書を読んでも、最終的にそれがどの当事者のどのような主張につながるのかということ意識する必要があります。これは、まさに4Aそのものです。したがって、4Aさえマスターしてしまえば、あとは自分の力で司法試験まですべてを戦い抜くことができると私は考えます。

まだまだ合格者続々!

2015年 司法試験合格者に聞きました!

4A基礎講座/4A論文過去問分析講義で
よかったところは?



司法試験 4A 論文過去問分析講義の教材が素晴らしい。特に、合格及第点の水準を意識して解説されたのが参考になった。【A.N.さん】



4A 基礎講座で配布される「4A 論文解法パターンテキスト」の「講師作成答案例」が素晴らしいです。【T.N.さん】



中村講師の講義でよかったところは、問題文を読んで考えるプロセスが示されているところです。他の講義では、基本的に論点解説に終始するものが多いので…【T.K.さん】

2015年 予備試験

合格者の声

次ページへ
GO!

法科大学院入試

合格者の声

次ページへ
GO!

CONTENTS

合格者の声

- 合格者メッセージ……………P01
- 合格体験記……………P04
- 中村講師×2015年合格者対談……………P06

法曹の魅力・試験ガイド

- 法曹の魅力と仕事……………P10
- 司法試験ガイド……………P10

4A (4段階アルゴリズム) とは

SPECIAL TOPICS

- 中村講師から受験生へのメッセージ……………P12
- 司法試験はなぜ難しいのか?……………P14
- 最短・確実な勉強法=4A (アルゴリズム)……………P16
- 4A基礎講座 講義イメージ……………P18
- 4A基礎講座 教材イメージ……………P20

受講料一覧

- 受講料一覧……………P42

お得な割引制度

- お得な割引制度……………P43

コースガイド

- 最短合格カリキュラム……………P22
- 中村講師のコース選択ガイド……………P24
- 4A基礎講座……………P26
- 4A実践答練……………P28
- 司法/予備試験……………P30
- 4A論文過去問分析講義……………P30
- 短答過去問解法分析講義……………P32

学習メディア・フォロー制度

豊富な学習メディア

- 通学メディア……………P34
- 通信メディア……………P35

安心のフォロー制度

- 安心のフォロー制度……………P36
- フォロー制度・割引制度……………P38

日程表・受講料

日程表

- 4A入門講義……………P40
- 4A論文解法パターン講義……………P40
- 4A条解講義……………P41
- 4A実践答練……………P41

受講料

- 受講料一覧……………P42
- お得な割引制度……………P43

教育訓練給付制度 (一般)

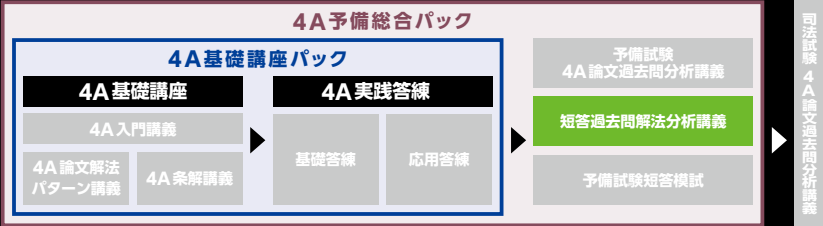
- TAC申込規約……………P45
- 申込方法・教育ローン……………P46
- 申込書記入上の注意・記入例……………P46
- 通信メディア郵送専用申込書……………P47
- 校舎マップ……………P48
- 書籍案内……………P49
- 無料講座説明会・無料体験入学……………巻末

短答過去問解法分析講義

全13回

【申込開始】2016年5月(予定)

【受講開始】2016年5月(予定)



ココがPOINT

01

さらなる進化を遂げた解法テクニック・プロセスを実演！

いかに知識過多の受験生でも“未知の問題”が全体の半分は出題される短答式試験で、知識がなくても正解するための10個の解法テクニックを使って解くプロセスを、中村講師が等身大の受験生の視点に立って実演します！

ココがPOINT

02

解法テクニックの徹底分析データ公開！

(新) 司法試験・予備試験全短答過去問につき、どの解法テクニックを使って、どこまで解ける問題なのか等を徹底分析したデータを示します。短答過去問をくり返し解く際に活用してください！

ココがPOINT

03

「一般教養科目」は全過去問の解法を解説！

予備試験の短答式試験の一般教養科目については、使用許諾をいただくことが非常に難しい英語と現代文の問題を除き、知識がない場合の解法を、サンプル問題から平成27年まで全過去問につき解説します。これだけでも予備短答の一般教養科目対策は充分すぎる！

司法試験・予備試験 短答過去問解法分析講義 全13回

カリキュラム	
講義時間 ▶ 全科目	約3時間/回
法律科目	憲法 1回
	民法 1回
	刑法 1回
	商法 1回
	民事訴訟法 1回
	刑事訴訟法 1回
行政法	行政法 1回
一般教養科目	サンプル問題 1回
	平成23～27年 5回(各1回)

使用教材

- 中村講師作成オリジナルレジュメ
- (推奨) 体系別短答式過去問集 (別売 早稲田経営出版)

受講料(予定)

¥49,800 (全13回・Web通信)

受講料・講義日程・お申込み方法の詳細は、2016年5月より「短答過去問解法分析講義リーフレット」・「TAG / Wセミナーホームページ」にてご案内します。

短答式試験 合格者の声

- 一般教養の対策は範囲が膨大で何から手をつけて良いかわからなかったのですが、この講座は大変役に立ちました！今度は、全過去問に範囲を広げて実施して欲しいです。
- 手薄になりがちな商法で大いに役立ちました！下手に迷うことが少なくなったのは大きいと思います。
- 実にすばらしかった。多くの発見があり、その発見を活かすことで、数日間の努力で、一般教養の成績が二割アップしました。

- 本講座のテクニックは本試験会場で絶大な威力を発揮します。その証拠に私の予備短答式試験の点数はH26年の151点から217点まで上がりました。最後の2択まで絞れるのに点数に結びつかない、そんな方にオススメです。
- 本番で自信を持って解答できない問題も、この解法テクニックを使うことで最後まで勘に頼らず得点につながる行動をとり続けることができました。最後まで分からなかった問題についても、試験終了直前に解法テクニックを使って解いたところ、見事正解することができました。勘に頼らなくてよかったです。

中村講師が疑問をズバリ解決！

- Q** 法律科目の対策を優先するため、一般教養対策をできるだけ短時間でやりたいのですが、この講座を受講するだけで一般教養科目でどれくらいの点数をとれるようになるのでしょうか？
- A** 一般教養科目は短時間で効率よく対策することが重要です！一般教養科目が苦手な方でも、60点中30点以上(平均点以上)はとれるようになることを狙っています。一般教養科目のうち、英語や理系科目など得意分野を1つでも持っている方なら、さらに高得点をとることも十分に可能です。
- Q** (新) 司法試験・予備試験の短答式試験対策は、この講義だけで万全ですか？
- A** 一般教養科目対策はこの講義のみで十分です！一般教養科目については、この講義を受けながら短答全過去問を1回解くだけでも、受験生平均を大きく超えた対策をしたことになります。他方、法律科目については、短答過去問をくり返し解いて「完璧」にすることは当然の前提です。この講義は、短答過去問知識だけでは解けない未知の問題対策をするものだからです。

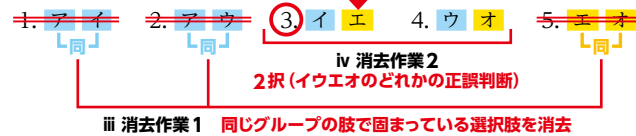
解法テクニックの一部を大公開！

解法① グループピング

問題 予備試験H23 [民法・商法・民事訴訟法] 第25問

株式会社を各当事会社とする合併に関する次のアからオまでの各記述のうち、正しいものを組み合わせたものは、後記1から5までのうちどれか。(解答欄は、[No.27])

- ア. 吸収合併の場合、いわゆる合併差損が生ずる合併は、することができない。
- イ. 吸収合併の場合、存続会社は、消滅会社の株主に対し、合併対価を何ら交付しないこととすることができる。
- ウ. 吸収合併の場合、消滅会社の解散は、吸収合併の登記の前でも、悪意の第三者に対抗することができる。
- エ. 新設合併の場合、新設合併契約を承認した消滅会社の株主総会の決議に瑕疵があることを理由として新設合併の無効の訴えを提起するときは、設立会社を被告としなければならない。
- オ. 新設合併の場合、設立会社を株式会社としなければならない。

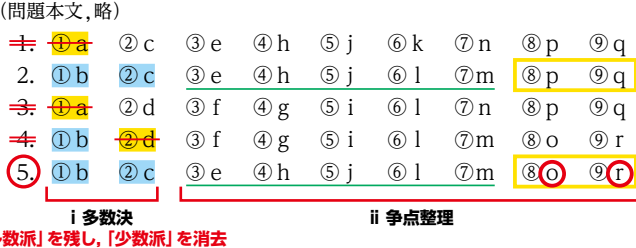


解法

- i キーワード抽出
アからオまでの各記述中の2～3個の記述に同じフレーズがあるものを探す。
→ 本問では、冒頭が「**吸収合併の場合**」と「**新設合併の場合**」
※「設立会社」も可。以下、同じ解法になる。
- ii グループピング
上記iの「**吸収合併の場合**」のグループと、「**新設合併の場合**」のグループに分ける。
→ 本問では、**アイウ**と**エオ**
- iii 消去作業1
同じグループ同士で固まっている選択肢を消去する。
→ 本問で、選択肢1・2は **アイウ** のグループ、選択肢5は **エオ** のグループ同士で固まっているので、これらの選択肢を消去すると、選択肢3・4が残る。
- iv 消去作業2 (上記iiiで消去される選択肢が3つある場合)
残る選択肢の2択だが、どれか1つの記述の正誤が分かればよい。(：このような場合、残り2つの選択肢は、いずれも正しい肢(○)かいずれも誤った肢(×)となる傾向がある。)
→ 本問では、選択肢3・4の2択に含まれるイウエオの記述のうち、エで「消滅」会社を被告とすることができないのでは…という点に思いが至れば、「設立会社を被告としなければならない」とする記述が「正しい」と考えられる。
- v 正解は3となる。

解法② 多数決→争点整理

問題 司法試験H27 刑法10問 (予備試験H27 [刑法・刑事訴訟法] 第8問)



解法

- i 多数決
① 多数派bが正しい傾向
→ 少数派aを含む選択肢1と3を消去する。
② 残る選択肢2・4・5での多数派cが正しい傾向
→ 少数派dを含む選択肢4を消去する。
- ii 争点整理
残る選択肢2と5は③e④h⑤j⑥l⑦mで争いなし。
→ “争点”⑧p対⑨oと⑩q対rを検討。
→ ②c、⑥lを前提とすると、【記述】の日本語的に⑧o、⑨rが正しい。
- iii 正解は5となる。